

オープンスタンダード化支援コンソーシアム

地域情報プラットフォーム 準拠のOSACフレームワーク



オープンスタンダード化支援コンソーシアム
会長
寺島 実郎 氏

総務省が推進する地域情報プラットフォームを活用したアプリケーション共同利用の実現に向け、システム開発のオープンスタンダード化による公正な競争環境やコスト削減など、官民の連携が求められている。

IT関連企業で構成される民間団体のオープンスタンダード化支援コンソーシアム(OSAC)では、「電子自治体アプリケーション・シェア推進協議会」(以下、協議会)と連携し、電子自治体システムの構築を支援する活動を展開している。

オープンソースで低コストに 共通基盤システムを構築

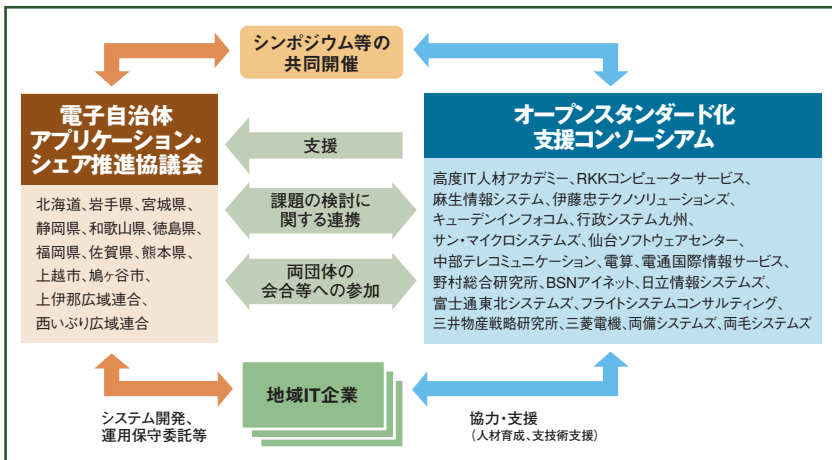
その1つが、地域情報プラットフォームに準拠した共通基盤システムを担うOSACフレームワークの無償提供である。福岡県電子自治体共通化技術標準のライブラリーにソースコードが公開されている鳩ヶ谷共通基盤システムを組み込み、ミドルウェアや開発フレームワークなどをオープンソースソフトウェア(OSS)でパッケージ化して提供する。

同フレームワークは、OSを導入済みのハードウェアがある場合、専用インストーラーを用いて10分程度で導入できることや、検証済みのソフトウェア構成により、基盤システムの設計、構築、テストにかかるコストと工数を削減できる特徴がある。

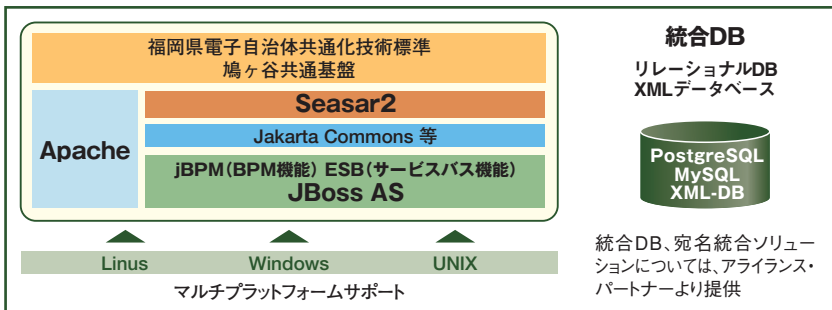
自治体のニーズに応じ、OSACに参加するIT企業が有償でフレームワーク導入・運用のワンストップサービスや統合データベースとの連携などを包括的にサポート。自治体はOSACフレームワークを活用することで、低コストに共通基盤システムを構築できるほか、地域IT企業との協働により、IT産業の育成を加速できる利点もある。

また、調達仕様書などのテンプレートを無償で提供。これにより、地域IT企業が地域情報プラットフォームに対応する情報化計画を自治体に提案するなど、競争力の向上を支援。OSACではこうした活動や協議会との合同研究会を通じ、フルオープンソースのOSACフレームワークの普及・促進を図っている。

電子自治体アプリケーション・シェア推進協議会とOSACの関係



OSACフレームワーク



お問い合わせ

オープンスタンダード化支援コンソーシアム事務局
〒100-0004
東京都千代田区大手町1-2-1
三井物産戦略研究所ITフロント推進センター
TEL 03-3285-3489 FAX 03-3285-7658
<http://www.osac.info/>